

地域ケア個別会議による個別課題の解決を中心としたネットワークの構築と地域課題の発見の実践

- ・事前アセスメント等は介護支援専門員に気持ちの上で負担にならないよう包括が中心に行う
- ・会議当日は参加者全員から得られた具体的な気づきをホワイトボードに視覚化
- ・ケアプランの変更により利用者の問題解決と介護支援専門員の自立支援に資するケアマネジメントの実践力向上の現実化
- ・包括が作成する地域ケア会議支援計画表により課題や目標の共通認識化により参加者それぞれの役割を確定



課題

- ・治療に対する決定権者がいない
- ・金銭管理が出来ず生活設計も立てられないため支払いが不十分
- ・移動手段がなく通院ができず適切な治療が得られない可能性がある
- ・薬物管理ができず薬の飲み忘れがある
- ・身元引受人がいないためサービスの導入を断られる可能性がある

包括が地域ケア個別会議を開催する時は介護支援専門員を苦しめるのではなく納得してもらえ会議運営を心がける気持ちが必要

地域ケア個別会議により

課題に対して目標設定をし、何をどのようにするかを明確化。介護支援専門員のスキルアップを図ることに成功。

- ① 社会資源導入による問題解決・ネットワーク構築
 - ② 薬剤知識や権利擁護知識の向上
- 地域課題の表出と保険者への提言
- ① 保険給付や高額化している介護タクシー以外の移送サービスがない
 - ② 身元引受がないと必要なサービスが得られない (NPO等の身元引受は高額)

介護支援専門員より他のケースでも地域ケア会議を開催して欲しいと言われる

